

新「常用漢字表」(平成22年11月30日内閣告示 二二三六字)の主な改定内容

三省堂編修所編

目次

- ① 196字の追加…………… 1
- ② 5字の削除…………… 4
- ③ 従来字種に関して…………… 4
- ④ 付表の語(当て字・熟字訓の類)に関して…………… 5
- ⑤ 備考欄での読み(府県名関連)…………… 5
- ⑥ 異字同訓の増加…………… 5
- ⑦ 明朝体と楷書(手書きの字体)で字形・字体に違いのある例…………… 6

① 196字の追加

茨 いばら
 * 彙 イ
 椅 イ
 菱 イ なへる
 畏 イ おそれる
 嵐 あらし
 宛 あてる
 暖 アイ
 挨 アイ

岡 おか
 旺 オウ
 艷 エン (艶) エン つや 高
 媛 エン
 怨 オン 高
 鬱 ウツ
 唄 うた
 * 淫 イン みだら 高
 咽 イン

諧 カイ
 潰 つぶ つぶす つぶれる
 楷 カイ
 瓦 カワ 高
 牙 ガ 高
 苛 カ
 俺 おれ
 臆 オク

韓 カン
 鎌 かま
 釜 かま
 * 葛 カツ くず 高
 顎 ガク あご
 柿 かき
 骸 ガイ
 蓋 ガイ ふた
 崖 ガイ がけ

* 僅 キン わずか
 巾 キン
 * 嗅 キユウ かぐ
 臼 キユウ うす
 畿 キ
 毀 キ
 亀 カメ (龜) かめ
 伎 キ
 玩 ガン

隙 ゲキ すき 高
 * 稽 ケイ
 憬 ケイ
 詣 ケイ もうでる 高
 熊 くま
 窟 クツ
 串 くし
 * 惧 グ
 錦 キン にしき

「」印刷文字として用いてもよい許容字体(なお、情報機器の制約による「頰」「賭」「剥」などの使用も可)。
 (一) いわゆる康熙字典(旧字体)。
 * 手書き(楷書)では別の字体でも書く(⑦参照)。
 カタカナは音読み、ひらがなは訓読み、(ハイフン)以下は送り仮名。「茨」「岡」「埼」「栃」「阜」は府県名に用いる。
 高は高等学校で学習する音訓。それ以外の音訓は中学校で学習する。

乞 喉 梗 勾 錮 虎 股 舷 鍵 拳 桁

こう のど コウ コウ コ とら コ また コ ゲン かぎ ケン こぶし ケン けた

柵 埼 塞 采 挫 沙 痕 頃 駒 傲

サク さい ふさ ふさ ソク サイ サイ ザ サ あと コン ころ こま ゴウ
さがる

腫 嫉 叱 鹿 餌 摯 恣 斬 撈 刹

はらす はれる シユ シツ しかり シツ しか しか 餌 [餌] シ シ きざん サツ セツ 刹 ㊶
え えさ ㊶ ジ

腎 芯 尻 拭 憧 蹴 羞 袖 呪

ジン シン しり ぬぐう ふく シヨク ㊶ ウケイ ㊶ とも (「憧憬」は「ド あこがれる シヨウ ける シユウ シユウ シユウ せで シユウ ㊶ のろう ジユ

*詮 腺 羨 煎 戚 脊 醒 凄 裾 須

セン セン うらやましう ㊶ うらやむ セン ㊶ いる セン セキ セキ セイ セイ すそ ス

*遜 捉 踪 瘦 爽 曾 溯 狙 膳 箋

ソウ ソク とらへえる ソウ ソウ ㊶ やせる ㊶ さわやか ソウ ㊶ ゴウ さかのぼる ㊶ ねらう セン セン

貼 耐 繳 綻 旦 誰 戴 堆 唾 汰

(「貼付」は「テン

はる
チヨウ

チュウ

チ

タン
ダン
ほころびる

だれ

タイ

タイ

タイ

(「つばき」とも)
つば

タ

* 賭 妬 埴 溺 諦 鶴 爪 椎 抄 嘲

かける
ト(高)

ねたむ

テン

おぼれる
デキ

あきらめる
テイ

つる

つま

ツイ

チヨク

あざける
チヨウ

ブ(とも)

* 鍋 謎 梨 奈 那 井 貪 頓 柝 瞳 藤

なべ

* 謎
「謎」
なぞ

なし

ナ

ナ

どん
どんぶり

むさぼる
ドン

トン

とち

ひとみ
ドウ

ふじ
トウ

阪 汎 汜 箸 剝 罵 捻 虹 匂

ハン

ハン

ハン

はし

はげれる
はがれる

はぐ
はがす

ハク
ののしる

ネン

にじ

におう

壁 餅 蔽 訃 阜 肘 膝 眉 斑

ヘキ

もち
ハイ

* 餅
「餅」
「餅」

ハイ

フ

フ

ひじ

ひざ

まゆ

ミビ(高)

ハン

冥 蜜 枕 味 勃 睦 頰 貌 蜂 哺 蔑

ミヨウ(高)

ミツ

まくら

マイ

ボツ

ボク

(「ほほ」とも)
ほほ

ボウ

はち
ホウ

ホ

さげすむ
ベツ

麵(麵) メン

冶 ヤ

弥(彌) ヤ

闇 ヤミ

* 喩 ユ

湧 ユウ
わく

妖 ヨウ
あやししい

瘍 ヨウ

沃 ヨク

拉 ラ

辣 ラツ

藍 ラン
あい

璃 リ

慄 リツ

侶 リョ

瞭 リョウ

溜 ル

呂 ロ

賂 ロ

弄 ロウ
もてあそぶ

籠 ロウ
かご

麓 ロク
ふもと

脇 わき

② 5字の削除

この5字は人名用漢字別表に追加された。

勺 シヤク

錘 スイ
つむ

銑 セン

脹 チョウ

勺 もんめ

③ 従来字種に関して

⓪は小学校で、無印は中学校で、Ⓜは高等学校で学習する音訓。

1 音訓の追加

委 ゆだ₁ねる ⓪

育 はぐく₁む ⓪

応 こた₁える ⓪

滑 コツ

関 かか₁わる ⓪

館 やかた ⓪

鑑 かんが₁みる Ⓜ

混 こ₁む ⓪

私 わたし ⓪

臭 にお₁う

旬 シユン

伸 の₁べる

振 ふ₁れる

粹 いき

逝 いく Ⓜ

拙 つた₁ない

全 すべ₁て ⓪

創 つく₁る ⓪

速 はや₁まる ⓪

他 ほか ⓪

中 ジユウ ⓪

描 か₁く

放 ほう₁る ⓪

務 つと₁まる ⓪

癒 い₁える
いやす

要 かな₁め ⓪

絡 から₁める Ⓜ

類 たぐ₁い ⓪

※「ジツ」は「ジュツ」とも。

2 音訓の削除

畝 せ

疲 つかーらす

浦 ホ

3 音訓の変更

側 かわ↓がわ㊦
(「かわ」とも)

4 語例の追加

音 イン 母音

堪 カン 堪能

(「タンノウ」とも)

屈 クツ 理屈

昭 ショウ 昭和

破ハ 破棄

※「案じる」「信じる」「力む」など、字音を動詞として用いた語も使える。

5 語例の削除

音 イン

音信不通

(「オンシンフツウ」とも)

込 こむ 人込み

(「混」の備考欄で、「人混み」は「人込み」とも書く)

従 したがう

従つて〔接〕

透 すく 透き間

(「隙」の備考欄で、「隙間」は「透き間」とも書く)

④ 付表の語(当て字・熟字訓の類)に 関して

1 追加

鍛冶 かじ

固唾 かたず

尻尾 しつぽ

老舗 しにせ

真面目 まじめ㊦

弥生 やよい

2 変更

海女 あま ↓ 海女・海士 あま㊦

一言居士 いちげんこじ ↓ 居士 こじ

五月晴れ さつきばれ ↓ 五月 さつき

お母さん おかあさん ↓ 母さん かあさん

お父さん おとうさん ↓ 父さん とうさん

大和㊦(大和絵、大和魂等) やまと㊦

↓ 大和 やまと

※付表の語を構成要素とする熟語も使える。

例、河岸(かし) ↓ 魚河岸(うおがし)

居士(こじ) ↓ 一言居士(いちげんこじ)

⑤ 備考欄での読 み(府県名関連)

愛 愛媛(えひめ)県

媛 愛媛(えひめ)県

岐 岐阜(ぎふ)県

児 鹿児島(かごしま)県

滋 滋賀(しが)県

城 茨城(いばらき)県、
宮城(みやぎ)県

神 神奈川(かながわ)県

鳥 鳥取(とっとり)県

富 富山(とやま)県

阪 大阪(おおさか)府

分 大分(おおいた)県

良 奈良(なら)県

⑥ 異字同訓の増 加

太字が追加

当/充/宛(あてる)

後/跡/痕(あと)

怪/妖(あやしい)

行/逝(いく)

歌/唄(うた)

恐/畏(おそれる)

書/描(かく)

掛/懸/架/賭(かける)

切/斬(きる)

請/乞(こう)

答/応(こたえる)

込/混(こむ)

作/造/創(つくる)

勤/務(つとまる)

捕/捉(とらえる)

臭/匂(におう・におい)

延/伸(のべる)

早/速(はやまる)

張/貼(はる)

外/他(ほか)

沸/湧(わく)

⑦ 明朝体と楷書（手書きの字体）で字形・字体に違いのある例

1 (5)の「ミ」、2 (6)の「叱」と3の例が追加された。

1 明朝体に特徴的な表現の仕方があるもの

(1) 折り方に関する例

衣—衣 去—去 玄—玄

(2) 点画の組合せ方に関する例

人—人 家—家 北—北

(3) 「筆押さえ」等に関する例

芝—芝 史—史 入—入 八—八

(4) 曲直に関する例

子—子 手—手 了—了

(5) その他

え・え—え 心—心

2 筆写の楷書では、いろいろな書き方があるもの

(1) 長短に関する例

雨—雨 戸—戸 無—無

(2) 方向に関する例

風—風 比—比 仰—仰

糸—糸 ネ—ネ

主—主 言—言 年—年

(3) つけるか、はなすかに関する例

又—又 文—文 月—月

条—条 保—保

(4) はらうか、とめるかに関する例

奥—奥 公—公

角—角 骨—骨

(5) はねるか、とめるかに関する例

切—切 改—改

酒 | 酒酒 陸 | 陸陸

宀 | 宀宀

木 | 木木 来 | 来来

糸 | 糸糸 牛 | 牛牛

環 | 環環

(6) その他

令 | 令令 外 | 外外

女 | 女女 叱 | 叱叱

3 筆写の楷書字形と印刷文字字形の違いが、字体の違いに及ぶもの

に及ぶもの

以下に示す例で、括弧内は印刷文字である明朝体の字形に倣って書いたものであるが、筆写の楷書ではどちらの字形で書いても差し支えない。なお、括弧内の字形の方が、筆写字形としても一般的な場合がある。

(1) 方向に関する例

淫 | 淫 (淫) 恣 | 恣 (恣)

煎 | 煎 (煎) 嘲 | 嘲 (嘲)

溺 | 溺 (溺) 蔽 | 蔽 (蔽)

(2) 点画の簡略化に関する例

葛 | 葛 (葛) 嗅 | 嗅 (嗅)

僅 | 僅 (僅) 餌 | 餌 (餌)

箋 | 箋 (箋) 填 | 填 (填)

賭 | 賭 (賭) 頰 | 頰 (頰)

(3) その他

惧 | 惧 (惧) 稽 | 稽 (稽)

詮 | 詮 (詮) 抄 | 抄 (抄)

剥 | 剥 (剥) 喻 | 喻 (喻)